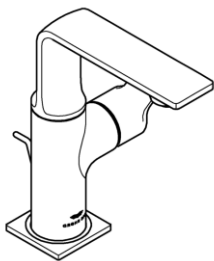


アリュール シングルレバー洗面混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

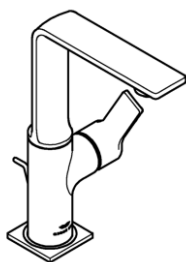
- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

各部名称

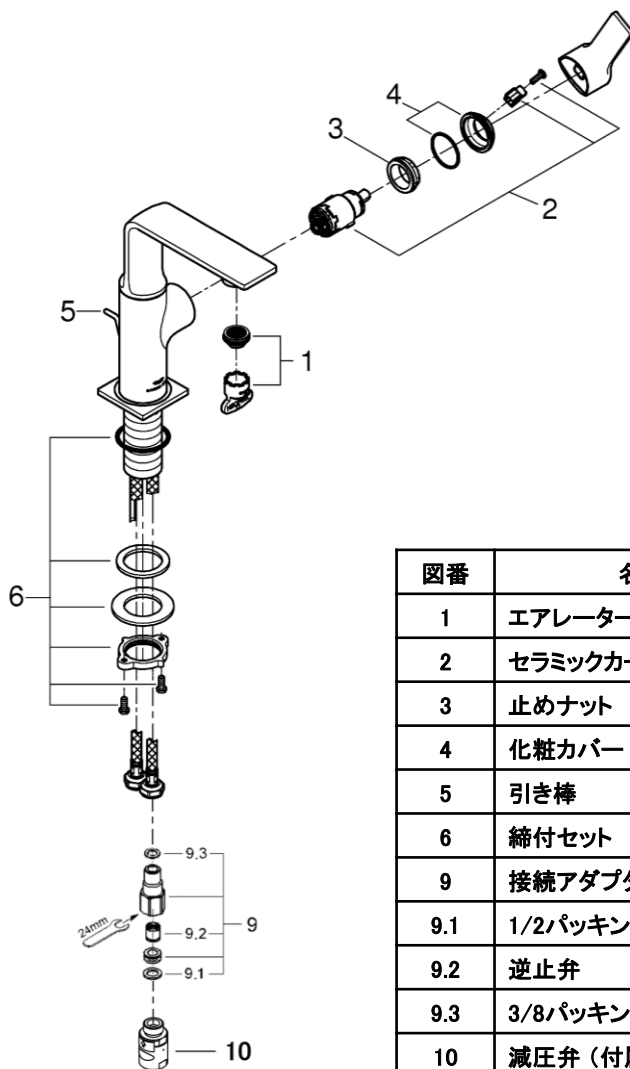
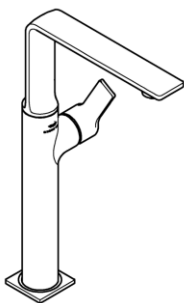
Mサイズ



Lサイズ



XLサイズ



図番	名称
1	エアレーター
2	セラミックカートリッジ
3	止めナット
4	化粧カバー
5	引き棒
6	締付セット
9	接続アダプター
9.1	1/2パッキン
9.2	逆止弁
9.3	3/8パッキン
10	減圧弁(付属品)

- ※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。
- ※ 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

付属の減圧弁は必ず使用してください。過度な圧力を低減させるものであり、使用しないと破損などによる漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●配管接続部を隠べいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

●付属品の減圧弁は必ず使用してください。過度な圧力を低減させるものになっており、使用しないと漏水で家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付手順

1. 本体の準備

注意

引き棒を使用の場合は
本体据付前に引き棒を
本体に取付けます。

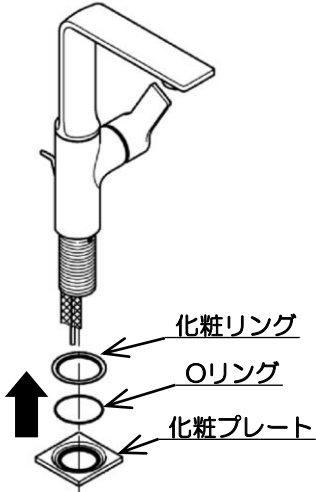


注意

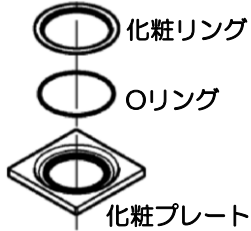
設置前にカウンター上部の汚れを拭き取ってください。



1. 水栓本体に化粧リング、Oリング、化粧プレートを取付けます。

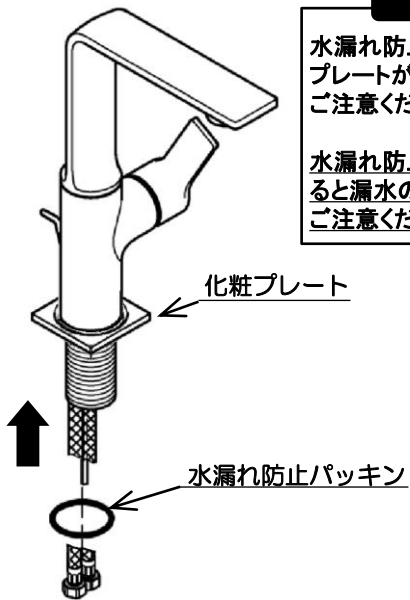


ポイント



水栓本体と化粧リング、
Oリング、化粧プレートの
中心を合わせるように
取付けます。

2. 化粧プレート裏面に水漏れ防止パッキンを取付けます。

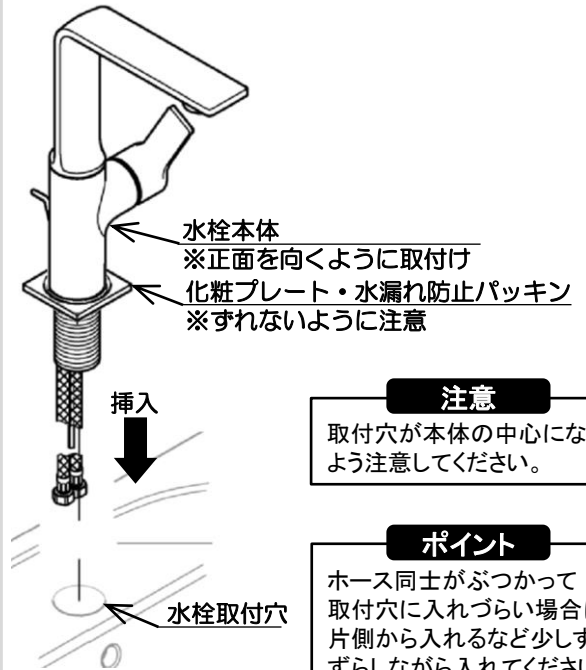


注意

水漏れ防止パッキンと化粧
プレートがずれないよう
ご注意ください。

水漏れ防止パッキンがズレ
ると漏水の原因になります。
ご注意ください。

3. 本体をカウンター上部から取付穴に挿入します。



注意

取付穴が本体の中心になる
よう注意してください。

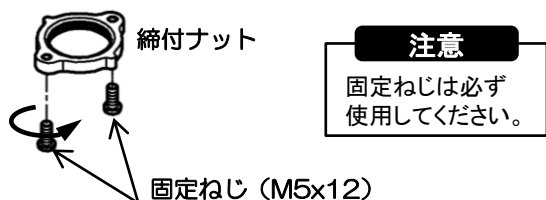
ポイント

ホース同士がぶつかって
取付穴に入れづらい場合は
片側から入れるなど少しずつ
ずらしながら入れてください。

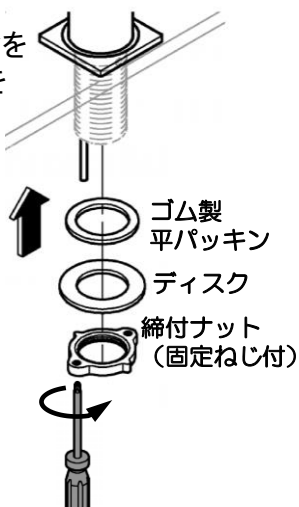
据付手順

2. 本体の固定

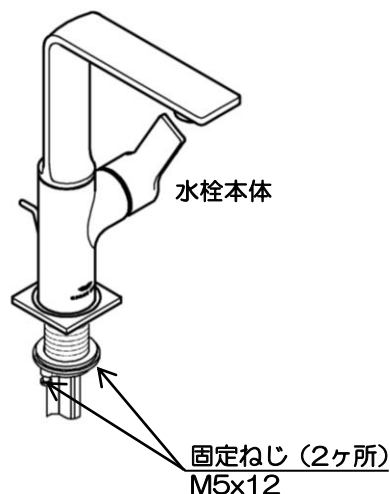
1. 締付ナットに固定ねじをねじこみます。



2. カウンター下からゴム製平パッキンとディスクをホースに挿入し締付ナットを締めつけます。



3. 締付ナットの固定ねじ(M5x12)を交互に最後までねじこみます。



注意
※固定ねじは必ず少しづつ交互に締め付けてください。
片寄った締付になると固定強度が不十分となるおそれがあります。
※水栓本体が確実に固定されていることを確認して下さい。

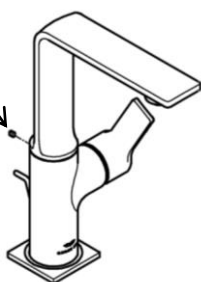
3. 吐水口ストッパーの設定

吐水口の回転角度は出荷時は100°に設定されていますが、同梱のストッパーを交換することで吐水口を固定することが出来ます。吐水口を回転させず、固定したい場合は以下の作業を行ってください。

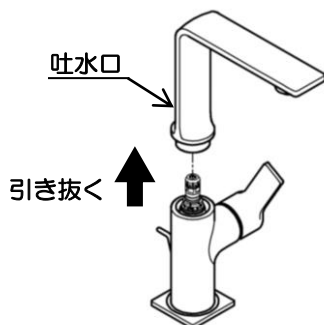
1. レバーハンドルを止水状態にして、本体裏側の固定ねじを、2.5mmの六角棒レンチで取外します。

固定ねじ
※2.5mmの六角棒レンチで取外し

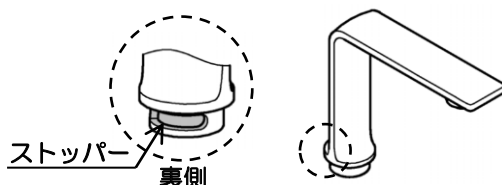
注意
※部品を無くさないようご注意ください。



2. 吐水口を真っ直ぐ引き抜きます。



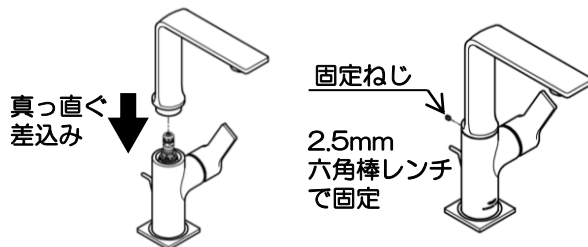
3. 吐水口裏側接続部にストッパーが付いています。製品出荷時は100°回転用ストッパーです。



注意

	・取り付けのストッパーを変えることで、吐水口が回転するかどうか変更することが出来ます。
	・ストッパーは施工後、お客様へお渡しください。

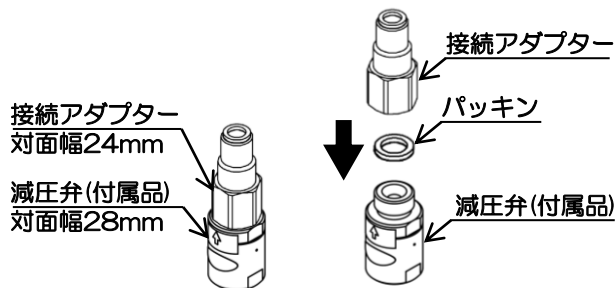
4. ストッパー交換後は吐水口を元に戻し、必ず固定ねじを締め付けてください。



据付手順

4. 付属の減圧弁と接続アダプターの取付け

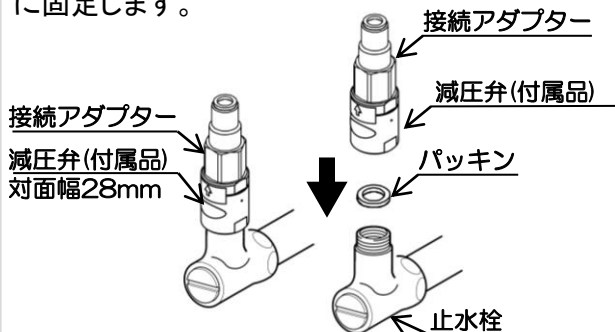
1. 接続アダプターと減圧弁をスパナで固定します。



注意

必ず付属の減圧弁を使用してください。
※漏水の原因となります。

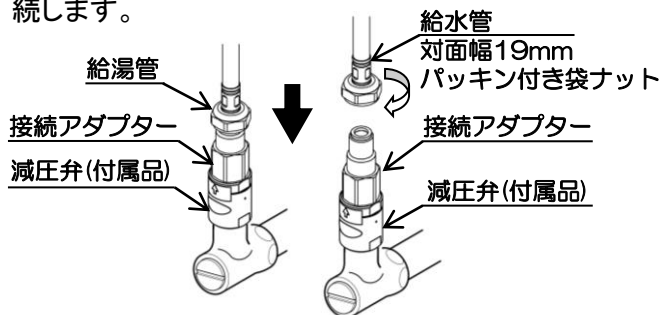
2. 付属の減圧弁の工具掛けにスパナを掛け、止水栓に固定します。



注意

締付けは、減圧弁に工具を掛けてください。
※接続アダプターに工具を掛けると漏水の原因となります。

2. 給水・給湯管の袋ナットを接続アダプターに接続します。



注意

このパッキンは
使用しない。本体袋ナットにパッキンが付属していますので、
接続アダプターに付属の袋ナット用パッキンは使用しません。現場にて廃棄してください。
・給水・給湯管の不要な接触は避けてください。
※干渉によりホースが劣化する恐れがあります。

注意

曲げ半径は
60mm以上

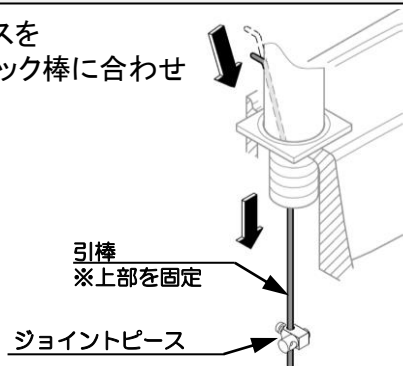
給水給湯管

- ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
- ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
- ・パッキンのキズやゴミかみに注意してください。
- ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
- ・給水・給湯管を曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。

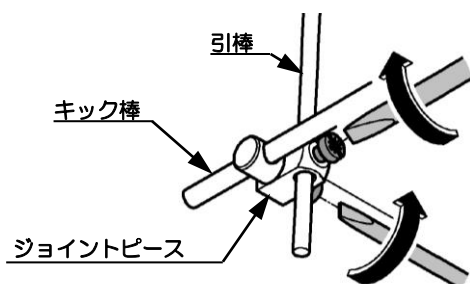
※漏水の原因となります。

引棒の取付け(※引棒付き製品のみ)

1. ジョイントピースを排水金具のキック棒に合わせ仮止めします。

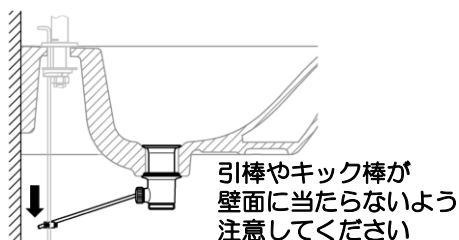


2. 排水金具のキック棒にジョイントピースを差し込み固定ビスで締付け調整します。



注意

- ・接続ホース、締付セット、壁面に引棒およびキック棒が接触しないことを確認して下さい。
- ※家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- ・引棒およびキックレバーは曲げずに接続するようにしてください。
- ※引棒を曲げて接続すると、操作が重くなります。
- ・固定ビスはゆるまないよう、確実に固定してください。

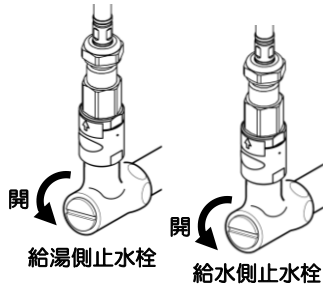


取付後の確認

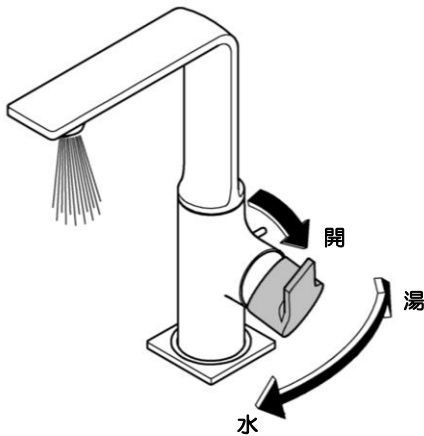
取付完了後、必ず下記の項目を確認して下さい。

1. 通水確認

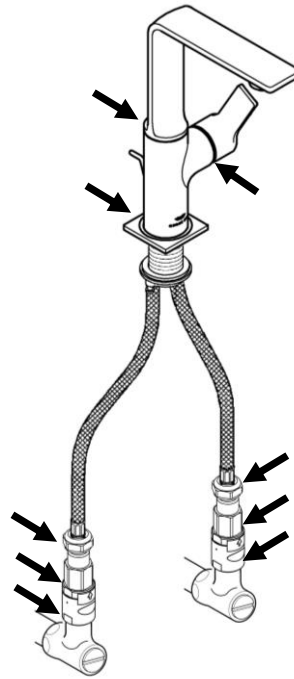
1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置でレバーハンドルをゆっくり開け、通水確認します。



3. レバーハンドルを閉じて、接続部からの漏水がないか確認します。



注意

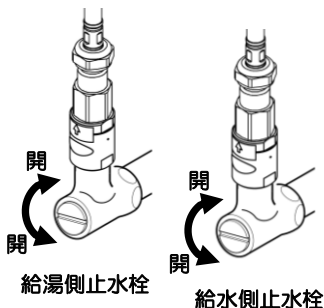
パッキンの切れ等が漏水の原因となります。

注意

万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

2. 流量の確認

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。



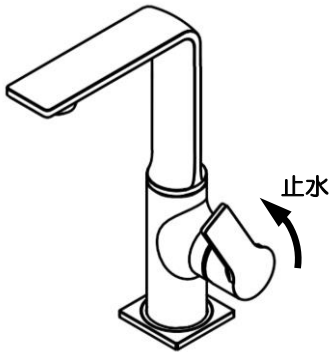
ポイント

- ・湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。
- ・吐水量を調整することで、水はねをおさえることができます。

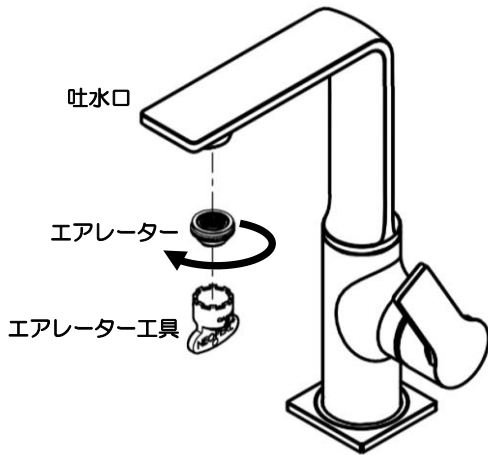
取付後の確認

3. エアレーターの清掃

1. レバーハンドルを止水状態にします。



2. 専用工具を使用し、エアレーターを反時計回りに回して外します。



注意

エアレーターは樹脂製です。
吐水口側のねじへ正確にゆっくりねじ込まないと、
樹脂製のねじが破損する場合があります。

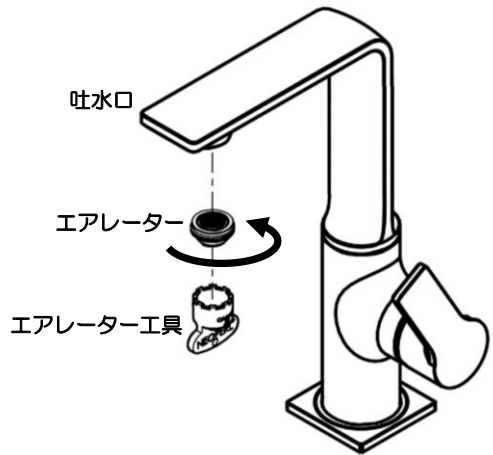
3. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。



ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している
事があります。よく水洗いしてください。

4. エアレーターを取付けます。

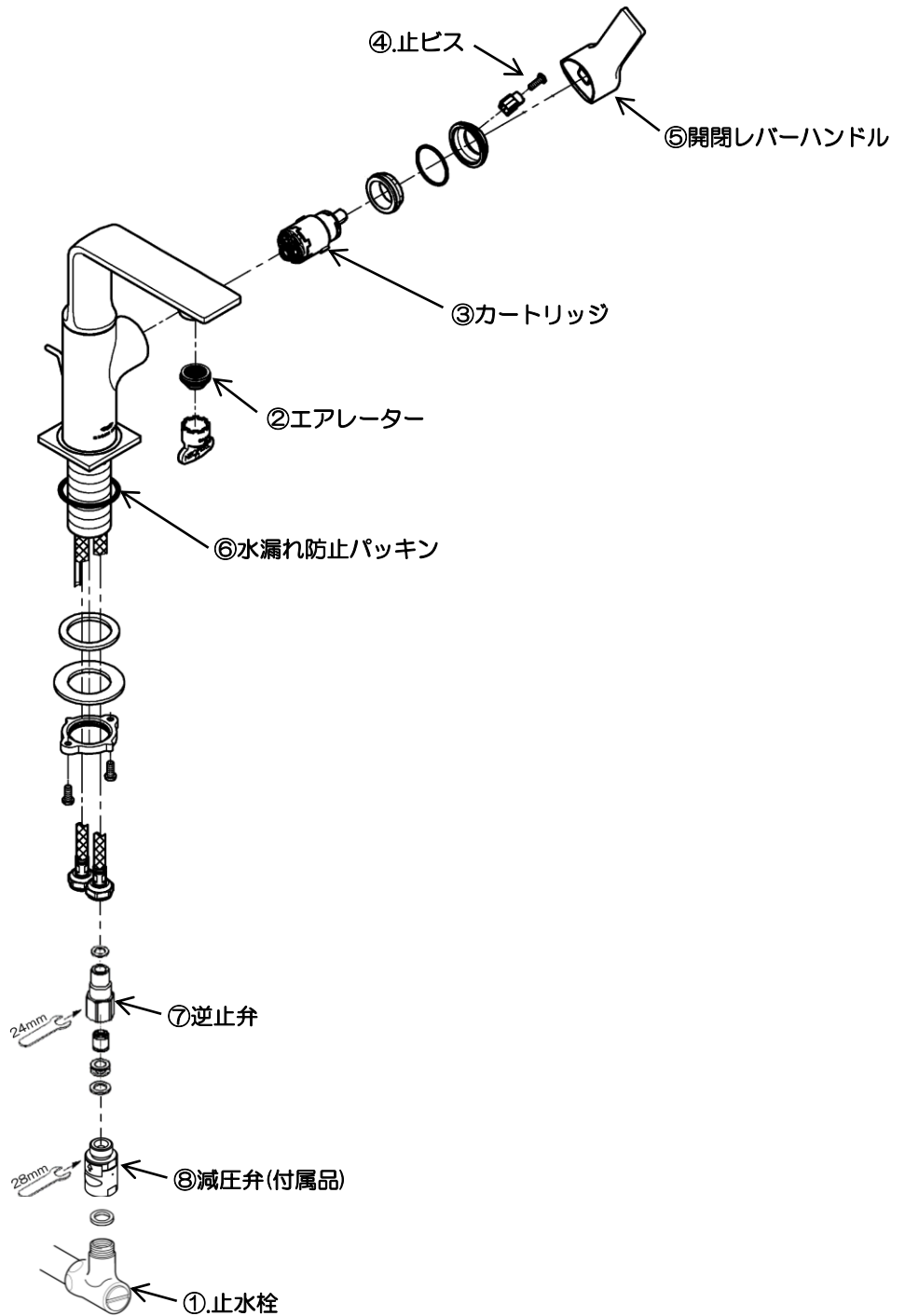


注意

清掃後は確実にエアレーターを取付けてください。
きちんとねじ山に沿って組付けしなければ、水漏れ
やエアレーターを破損させてしまうことがあります。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	②③⑦⑧	破損・ゴミかみはないか？
水が止まらない	③	破損・ゴミかみはないか？
温度不良	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	③⑦⑧	破損・ゴミかみはないか？
レバーがガタつく	④⑤	正しく取り付けられているか？
カウンター内の漏水	⑥	正しく取り付けられているか？

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>